

本日「考える会」が県教委に緊急要請

長浜の中2対象「誘導アンケート調査」は直ちにやめよ

県教委は急遽、長浜市の中学2年生とその保護者を対象に「高校再編に関するアンケート調査」の実施を決め、13日各学校にアンケート用紙を降ろしました。実施期間は7月13日～19日、24日必着でアンケートを回収するとしています。これに対して、「県立高校の統廃合を考える会」は、14日、河原教育長に緊急申し入れを行いました。以下、申し入れの要旨です。

ストップ高校統廃合速報 2012年度第12号

2012/7/13 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

県教委は統廃合前提の「誘導アンケート調査」を直ちにやめるべきです（要請）

このアンケートは、内容と実施方法において、重大な問題を含んでおり、実施作業は直ちに中止すべきと考えます。

「大規模校の選択」が多くなるように誘導

第1に、アンケートの設問全体が、昨年7月に示された統廃合原案を誘導するものになっています。希望する学校規模を問うときに「地域性を考慮した小規模校」とか「大学進学を目指す比較的大きな規模」とか、学校規模とは関係のない要素を加えて「大規模校の選択」が多くなるように誘導しています。

問8は、10の設問全部が、「新校」の設置を前提としています。「新校」の設置場所を、駅からの距離や雪の影響など、一般論で問いながら、回答を再編原案が示す特定の学校に誘導しています。

「新校」の校名の決め方まで設問しています。しかも、「新校」の学校規模を1学年200人以下、300人、400人に分けて、意図的に大規模校を選択するように誘導しています。300人は7.5クラス、4

00人は10クラスです。

公正な設問をするなら、長浜北高校と長浜高校の統廃合の是非を問うべきです。

少数者切り捨てに繋がるアンケート

第2に、少数者切り捨てに繋がるアンケートになっています。湖北における定時制課程の必要性を設問していますが、「あった方がよい」が少数なら定時制をつぶす根拠にするつもりなのでしょうか。

趣旨が不明、回答が無理な設問が

第3に、趣旨が不明だったり、生徒が答えるのには無理な設問が目立ちます。「湖北に大きな規模で大学進学を目指す普通科だけの高校は何校あればいいか」など、応えることが不可能な設問です。「中高一貫校」について設問し、設置を求める声が多ければ、中高一貫校を設置するつもりなのでしょうか。

長浜市民に敵対する行為

第4に、今回のアンケートの実施は、長浜市民と長浜市議会、「長浜の未来を拓く教育検討委員会」の真剣な努力に水を浴びせ、これに敵対する行為とも言えます。

長浜市は県から「再編原案への対案を示せ」「意見を聞く」と言われ、また、長浜市民の声を広く受けとめて「高校再編の手続きに関する提言」をまとめて県に提出しました。そこでは「地域や学校現場の声を反映させる仕組みをつくり」「教育の原点立った再編案の再検討」を求めています。今回の行為は、この提言を受け止める姿勢とは正反対のものです。

市の教育委員会や校長を飛び越えた異常な手段

第5に、長浜市の教育委員会が管轄する長浜市の中学校に対して、同教育委員会や校長を飛び越えて、半ば強制的に、生徒や保護者の「意向」を確かめる異常な手段に出たことです。この行為がまかり通れば、県行政に対する市行政と地域住民の不信感は一層募るに違いありません。

県知事と教育長が行うべきことは、まず、この「誘導アンケート調査」の作業をやめて、長浜市の第1次提言を真摯に受け止めることです。

2012年7月13日

県立高校の統廃合を考える会

県教委は統廃合前提の「誘導アンケート調査」を直ちにやめるべきです（要請）

このアンケートは、内容と実施方法において、重大な問題を含んでおり、実施作業は直ちに中止すべきと考えます。

「大規模校の選択」が多くなるように誘導

第1に、アンケートの設問全体が、昨年7月に示された統廃合原案を誘導するものになっています。希望する学校規模を問うときに「地域性を考慮した小規模校」とか「大学進学を目指す比較的大きな規模」とか、学校規模とは関係のない要素を加えて「大規模校の選択」が多くなるように誘導しています。

問8は、10の設問全部が、「新校」の設置を前提としています。「新校」の設置場所を、駅からの距離や雪の影響など、一般論で問いながら、回答を再編原案が示す特定の学校に誘導しています。「新校」の校名の決め方まで設問しています。しかも、「新校」の学校規模を1学年200人以下、300人、400人に分けて、意図的に大規模校を選択するように誘導しています。300人は7.5クラス、400人は10クラスです。

公正な設問をするなら、長浜北高校と長浜高校の統廃合の是非を問うべきです。

少数者切り捨てに繋がるアンケート

第2に、少数者切り捨てに繋がるアンケートになっています。湖北における定時制課程の必要性を設問していますが、「あった方がよい」が少数なら定時制をつぶす根拠にするつもりなのでしょうか。

趣旨が不明、回答が無理な設問が

第3に、趣旨が不明だったり、生徒が答えるのには無理な設問が目立ちます。「湖北に大きな規模で大学進学を目指す普通科だけの高校は何校あればいいか」など、応えることが不可能な設問です。「中高一貫校」について設問し、設置を求める声が多ければ、中高一貫校を設置するつもりなのでしょうか。

長浜市民に敵対する行為

第4に、今回のアンケートの実施は、長浜市民と長浜市議会、「長浜の未来を拓く教育検討委員会」の真剣な努力に水を浴びせ、これに敵対する行為とも言えます。

長浜市は県から「再編原案への対案を示せ」「意見を聞く」と言われ、また、長浜市民の声を広く受けとめて「高校再編の手続きに関する提言」をまとめて県に提出しました。そこでは「地域や学校現場の声を反映させる仕組みをつくり」「教育の原点立った再編案の再検討」を求めています。今回の行為は、この提言を受け止める姿勢とは正反対のものです。

市の教育委員会や校長を飛び越えた異常な手段

第5に、長浜市の教育委員会が管轄する長浜市の中学校に対して、同教育委員会や校長を飛び越えて、半ば強制的に、生徒や保護者の「意向」を確かめる異常な手段に出たことです。この行為がまかり通れば、県行政に対する市行政と地域住民の不信感は一層募るに違いありません。

県知事と教育長が行うべきことは、まず、この「誘導アンケート調査」の作業をやめて、長浜市の第1次提言を真摯に受け止めることです。

2012年7月13日

県立高校の統廃合を考える会